



水と緑 人のいきかう 高島市

# 広報 たかしま Takashima

2008  
5.1  
平成20年  
No.66

広報たかしま  
平成20年5月1日(木)

第66号

発行／高島市 編集／企画部秘書広報課  
〒160-0801 滋賀県高島市新旭町北畑ののの5番地 ☎0770(25)8-130

http://www.city.takashima.shiga.jp  
t:info@city.takashima.shiga.jp



### 「高島市森林体験学校」開校!

4月5日、くつきの森に高島市の豊かな森林の魅力を体験できる学校が開校しました。

## ●特集②-③ 一刻一秒を争う 消防活動

- 4 タウントップピクス
- 5・6 お知らせ拡大版
- 7 教育委員会 information
- 8 みんなで5・7・5
- 9 市長日記・省エネ長者作戦
- 10・11 まちなタ写真館
- 12 びょういんだより
- 13 健康生活していますか?
- 14 国保年金あらかると
- 15-17 情報おしらせ版
- 18 そうだ図書館に行こう!
- 19 窓口・納税
- 20 歴史散歩

高島市

# 歴史散歩

No.41

## 「安曇」の地名が語るもの

高島市のアトの地名は、古くは奈良時代に編さんされた『万葉集』に「足利」「阿戸」「阿渡」「足速」「吾跡」などと書かれて登場します。これらはいずれもアトと発音されていたと思われ、現在の「安曇」という字がいつごろから使われたものかは明確ではありません。ただ新旭町安井川の川原市には安曇川沿いにかけて「安曇」という小字があり、聞き取りなどによると、この「安曇」は安曇川をはさんだかなり大きな広がりをもった土地の名前であったともいわれています。

海人部は、海辺に住んで漁をする人々の集団のこと、安曇(阿曇)氏も海や水にかかわりの深い氏族であったことが推測されます。「アツミ」に關係する地名は全国に残っており、高島市の「安曇」のほかでは、有名な長野県の安曇野や、福岡県や鳥取県で古代の郷名として伝わる「阿(安)曇郷」、福島県の「安積郡」、石川県の「安津見」という村名などがあります。また高島市安曇川町青柳には「安名」という小字があり、これも「アツミ」関係地名の一つであるとも考えられています。

▶安曇川河口



これらの地名の中には、やはり安曇氏のかかわりを伝えるものもあり、また川や海など水辺にかかわるものもあります。こうした各地に残る「アツミ」地名と、高島市の「安曇」との直接のかかわりは明確ではありませんが、どちらも安曇氏または海や川など水辺にかかわる地名であることは推定できます。

一説に、「アツミ」の元の意味は海であり「アト」の名は「アツミ」が転化したものといわれていることから、高島市の「安曇」は川や水にかかわりの深い多くの意味を持つ地名であるということができるといいます。(文化財課)



春の息吹が弾けだし、里山に彩りを添えています。(花：カタクリ)

編集後記



古紙/UV配合率70%再生紙を使用。



大豆インクを使用しています。